



きびでしよまなびのこ 公募展2024

2024.10.10(木)～10.16(水)
10:00～16:00
「総編集」
11.13(木)
11.5(月) 休
入場料無料
展示料無料

主催:やまがたアートサポートセンターら・ら・ら / 社会福祉法人愛泉会ぎやらりーら・ら・ら

共催:山形県

同時開催

やまがたのきゅーじゅ まなざし2024

2024.10.31(木) — 11.13(木)
10:00~16:00 展示会「悠々堂」
11.5(月) 休無料
11.12(日) 休無料

主催:やまがたアートサポートセンターら・ら・ら / 社会福祉法人愛泉会ぎやらりーら・ら・ら

きざしとまなざし公募展 2024

やまがたのきざしとまなざし 2024

障がいのある人たちをとりまく環境には、表現の「きざし」があり、その表現に寄りそう「まなざし」があります。障がいのある人たちの表現は、このような相互の関係性でかたちづくられているともいえます。

この公募展をきっかけに、障がいのある人たちの表現(=「きざし」)が、それを鑑賞するみなさんの「まなざし」、そしてその先に開かれた社会の「まなざし」へと広がっていく機会になればと思います。

表現の「きざし」と、それに寄りそう「まなざし」を是非ご体験ください。

【開催概要】

会場：悠創館（山形市大字上桜田366）展示室1,2 [入場無料]

会期：2024/10/31（木）—11/13（水）10:00～16:00 ※11/5（月）休館

【きざしとまなざし公募展2024】

山形県出身または在住の、社会において何らかの障がいのある方から公募した172作品を、作品の背景を語るまなざしコメントと共に展示します。また、表現のきざしとそれに寄り添うまなざしをテーマに審査を行い、きざしとまなざし賞1点、山形県知事賞1点、審査員賞5点、入選20点を選出しました。入賞・入選作品は審査員のまなざしコメントも合わせてご覧ください。

主催：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら／社会福祉法人愛泉会
ぎやらりーら・ら・ら 共催：山形県

●受賞作品

きざしとまなざし賞：「みち ミチ 道」齋藤芳一

山形県知事賞：「デザート、スイーツと国旗です パート1」川村佳祐

瀬尾夏美（審査員）賞：「めぐり すすむ まいにち」小林遼平

halken LLP（審査員）賞：「日々の絵 2024」横澤洸貴

岡部信幸（審査員）賞：「お父さん」HIDE

吉田勝信（審査員）賞：「My Fashion ～Part2～」佐竹佑紀+デイサポート天花の仲間たち

永岡大輔（審査員）賞：「まーめいど、トイストーリー、リトルマーメイドのやつ、ドラエモン、シャケ、カレーライス」児玉玲央奈

●審査員：瀬尾夏美（アーティスト）

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。陸前高田市（岩手県）を拠点とした制作を経て、2015年仙台市（宮城県）で、土地との協働を通じた記録活動を行う一般社団法人NOOKを立ち上げる。著書に『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』（晶文社）がある。

●審査員：halken LLP（クリエイティブデュオ）

山形出身の画家・スガノサカエ（1947—2016）のマネジメントをきっかけに結成された二人組チーム（アイハラケンジ [アートディレクター／グラフィックデザイナー]、三浦晴子 [キュレーター／フォトグラファー]）。展覧会のキュレーションや構成・デザイン、アーティストブックの企画・制作・出版、アーティストマネジメントなど、幅広く活動を展開している。

●審査員：岡部信幸（山形美術館 学芸員）

山形県上市出身。学芸員として齋藤茂吉記念館に5年間勤務の後に山形美術館へ。郷土の作家からロシア ヴァンギャルドまで、幅広い

ジャンルの企画力に定評がある。

●審査員：吉田勝信（採集者・デザイナー・プリンター）

山形県を拠点にフィールドワークやプロトタイプングを取り入れた制作を行なう。近年の事例に海や山から採集した素材で「色」をつくり、現代社会に実装することを目的とした開発研究「Foraged Colors」や超特殊印刷がある。趣味はキノコの採集および同定。

●審査員：永岡大輔（アーティスト）

1973年山形県生まれ、横浜市在住。Wimbledon School of Art修士修了、現在横浜と山形を拠点に活動している。記憶と身体との関係性を見つめ続けながら、創造の瞬間を捉える実験的なドローイングや、鉛筆の描画を早回しした映像作品を制作する。現在では、新しい建築的ドローイングのプロジェクト『球体の家』に取り組みながら、我々の日常を取り巻く様々な側面を検証し、活動を展開している。

【同時開催：やまがたのきざしとまなざし2024】

この企画展は、山形県内の障がいのある作家の表現(=「きざし」)と、それに寄りそう「まなざし」に焦点をあてて2018年度から継続し7回目になります。今回は、前年度の県内公募展の入賞作家から4名をピックアップしました。作品と共に、寄りそう人の言葉、審査員コメント、ポートレートなどを展示します。作家を取り巻く環境から、寄りそう「まなざし」を感じていただければと思います。何気ない日々のなかにワクワクするような、表現のきざしをみつけるチカラ(=まなざし)がうまれることを期待します。

●表現する人×寄り添う人／関係性

01. 奏さん×史枝さん／娘と母

02. 太田裕幸×辻美和さん・佐藤愛美さん／福祉事業所の利用者と職員

03. 粕谷 聡太さん×宮澤恵子さん／特別支援学校の生徒と給食の先生

04. 小林遼平さん×岡崎もといさん／福祉事業所の利用者と職員

取材協力：社会福祉法人愛泉会 向陽園、山形県立村山特別支援学校 山形校、社会福祉法人月山福祉会 スローワーク新町／主催・企画・取材：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら／企画・アートディレクション・取材（撮影）・編集・デザイン：halken LLP

【関連イベント—ギャラリートーク—】

ゲストの審査員のまなざしコメントをお聞きしながら展示作品を鑑賞しませんか？

11/7（木）10:30～11:30／登壇者：halken LLP（アイハラケンジさん、三浦晴子さん）、吉田勝信さん



きざしとまなざし賞「みちミチ道」齋藤芳一



やまがたのきざしとまなざし2024 鶴岡巡回展の様子



ワークショップ「らららな世界をひろげよう」の様子

11/11 (月) 13:30~14:30 / 登壇者：瀬尾夏美さん、岡部信幸さん、永岡大輔さん

※トークの様子は、後日YouTubeで配信します。詳しくは11/15以降、やまがたアートサポートセンターら・ら・らのウェブサイトをご確認ください
(<https://www.y-aisenkai.com/info/lalala/>)

【関連イベント—おめでとう&相談day—】※要予約

審査員が展示室に滞在し、入賞者には個別に賞状をお渡しします。作品についてのコメントを聞いたり、活動について相談したいことなどありましたら、この機会にお話してみませんか？

- 11/4 (月祝) 13:30~15:00 三浦晴子さん (halken LLP)
- 11/7 (木) 13:30~15:00 吉田勝信さん
- 11/8 (金) 10:30~12:00 岡部信幸さん
- 11/9 (土) 10:30~12:00 永岡大輔さん
- 11/10 (日) 13:30~15:00 瀬尾夏美さん
- 11/12 (火) 13:30~15:00 アイハラケンジさん (halken LLP)

【ワークショップ—らららな世界をひろげよう—】

いろんな素材を手で触れて、形や大きさ、質感を感じて「ら・ら・ら」の世界を広げよう。シールやスポンジなどで好きな形を作って壁を楽しく変身させましょう！

日時：公募展会期中いつでも 会場：悠創館展示室
対象：どなたでも参加できます (お子さんの場合は保護者同伴)
企画：石沢恵理 (東北芸術工科大学専任講師、ワークショップデザイナー)

【コラボレーション企画】

◎1日限定ワークショップ「はじめまして!アートで楽しくつながろう」
丸やハート形のカードに自由に絵や文字を描いていただき、それをつなげて一つの作品にします。アートをきっかけにして、普段会わないようないろんな人が「はじめまして!」と楽しくつながれたらと思います。

日時：11/4 (月祝) 11:00~15:00 会場：悠創館展示室
対象：どなたでも参加できます (お子さんの場合は保護者同伴)
企画：山形東高校探求科×デイサポートたんぼ工房

◎作品展示「ひとつの居場所に、ひとりひとりそのまんま」

児童デイサービス「月のひかり」に学生が訪問し、子供たちと関わり合いながら制作した作品を展示します。学生からのメッセージ“月のひかりでは「みんなそれぞれが他人に合わせず自分らしさを全開に!それでも月のひかりというひとつの場所で同じ時間を共にしている」様子がとても印象的なものでした。自由ながらも、どこかまとまりを感じる。それを子供たちと創作した作品で表現してみます。”

企画：東北芸術工科大学総合美術コース×児童デイサービス月のひかり

【関連企画展:きざしとまなざし4県交流展(福島・新潟・宮城・山形)】

福島、新潟、宮城、山形より、きざしとまなざしを感じる作品8点を招待作品として展示します。

日時：10/28 (月) ~12/8 (日) 10:00~17:00
会場：ぎやらりーら・ら・ら (山形市諏訪町1-2-7)

【公募展入賞作品+「やまがたのきざしとまなざし2024」巡回展】

米沢市民ギャラリー ナセBA (米沢市中央1-10-6) : 2025/1/11—19

【やまがたアートサポートセンターら・ら・ら/ぎやらりーら・ら・らについて】

社会福祉法人愛泉会では、2011年に「ぎやらりーら・ら・ら」を開設、2016年に「やまがた障がい者芸術活動推進センター」、2020年に「やまがたアートサポートセンターら・ら・ら」を設置し、障がいのある人の芸術文化活動のさらなる充実のため「相談支援」「人材育成」「ネットワークづくり」「発表機会の創出」「調査発掘・発信」に取り組み、活動を通して新たな価値創造の発信を続け、互いを尊重し理解しあえる包容力のある地域社会創造を目指しています。

【お問い合わせ・関連イベントお申し込み先】

やまがたアートサポートセンターら・ら・ら
〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-2-7 TEL: 023-674-8628
FAX: 023-664-2118 E-mail: g.lalala@y-aisenkai.or.jp

【悠創の丘「悠創館」へのアクセス】

電車：JR「山形駅」から山交バス「芸術工科大学前」行きで終点下車、徒歩10分。自家用車：山形自動車道山形蔵王I.C.から約12分。東北中央自動車道山形上山I.C.から約13分。

